

## 夫婦・家族合同面接のケース・スタディ

夫婦・親子・家族との面接においては、一般的な個人心理療法とは異なる理解と治療的介入が必要になります。しかし、それらは書籍や論文を読んだだけでは理解することが難しく、研修会等でもその実際に触れられる機会は非常に少ないといえます。そのために、一般的な個人心理療法とは何がどう違うのか、面接の中で実際に何が起こっているのか、セラピストとしてどう介入していいかよく分からないなど、戸惑いが生じることも珍しくありません。

この研修会は、対面での実施予定です。二人の講師がそれぞれ架空事例を用いて、夫婦・親子・家族との面接におけるアセスメントと介入について解説します。また、架空事例を題材にして合同面接のロールプレイを実施する予定です。合同面接における実際のコミュニケーションを通じて、家族の見立てと支援についてのヒントが得られると思います。

夫婦・親子・家族との合同面接は難しいと感じている方、心理臨床のスキルアップをしたいと考えている方の参加をお待ちしています。

### 記

**講師**：野末武義（明治学院大学・IPI 統合的心理療法研究所所長）  
北島歩美（日本女子大学カウンセリングセンター）

**日時**：2024年2月18日（日曜日）10:00～16:00（昼食休憩1時間程度）

**場所**：全国家電会館（1階A（大会議室）（〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目6番1号 最寄り駅：湯島駅）<https://www.jeass.or.jp/>

**定員**：50名（対面による講義と実習、録画視聴なし）

**内容**：① 親子合同面接の実際：架空事例の逐語記録の検討から

- ・合同面接の意味づけ
- ・合同面接で役立つ基本的心理的技法についての概説
- ・架空事例逐語記録のロールプレイ
- ・架空事例についてのディスカッション

② 個人面接と合同面接の統合的活用：架空事例のプロセスの検討から

- ・予約電話の情報から何を理解するか
- ・家族の関係性を扱う個人面接：一般的な個人心理療法との違い
- ・個人面接から合同面接に移行する際の留意点
- ・合同面接におけるセラピストの治療的介入の基本

**申込期間**：2023年12月18日（月）0:00～2024年2月12日（月）23:55 締め切り

### 参加区分と参加費：

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

## 研修ポイント

- \* 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- \* 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- \* 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。